

JICA 地球ひろば基本展示「人間の安全保障」を題材とした単元設計

—地球案内人の体験談ありバージョン—

1、テーマ

「SDGs から考える持続可能な社会と私たち」

2、対象学年・教科

中学1～高校3年生・総合的な学習の時間 or 社会科（公民的分野）or 公民科（レベル別ルーブリックの活用）

3、単元の目標

- 「人間の安全保障」の展示を見学することを通して、SDGs を入口に地球の持続可能性についての関心を持ち、自分自身の生き方を問い直そうとしている。そのプロセスにおいて自分自身の深まりや変容を自覚できている。（学びに向かう力・人間性等）
- 「人間の安全保障」の展示の見学から、批判的かつ論理的に地球の持続可能性について考え、自分自身の生き方への深まりや変容を多様な表現方法で明示できている。また、想像力を駆使して、既存の知識や素朴概念、関係性を組み替えようとしている。（思考力・判断力・表現力等）
- 自分自身の生き方への深まりや変容を明示する際の根拠となる地球の持続可能性に関する知識（SDGs の内容・途上国の現状・「開発」「支援」のような概念を含む）を習得・活用できている。また、展示の見学から根拠となるデータを得ることができ、分析するための一連のスキルを身に付けている。（知識・技能）

4、評価規準

本単元の Essential Questions に応答するためのパフォーマンス課題のルーブリックを作成するための規準となる。特に「自分自身の生き方への深まりや変容」を明示できるプロセスがわかる FM を示す。

学びに向かう力・人間性等	思考力・判断力・表現力等	知識・技能
<ul style="list-style-type: none">・「人間の安全保障」の展示を見学することを通して、SDGs を入口に地球の持続可能性についての関心を持ち、自分自身の生き方を問い直そうとしている。そのプロセスにおいて自分自身の深まりや変容を自覚できる。・展示の見学の前後で地球の持続可能性に関する自分自身の考えがどのように変化したのかを認識できる。	<ul style="list-style-type: none">・「人間の安全保障」の展示の見学から、批判的かつ論理的に地球の持続可能性について考え、自分自身の生き方への深まりや変容を多様な表現方法で明示できる。・自分の視点でSDGsを選択し、地球の持続可能性への考えを持つことができる。・想像力を駆使して、既存の知識や素朴概念、関係性を組み替えようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・自分自身の生き方への深まりや変容を明示する際の根拠となる地球の持続可能性に関する知識（SDGs の内容・途上国の現状・「開発」「支援」のような概念を含む）を習得・活用できる。・展示の見学から根拠となるデータを得ることができ、分析するための一連のスキルを身に付けている。・展示の意図を考え、途上国の現状を把握し、自分自身の生き方

		を考える契機とできる。
--	--	-------------

5、単元の学習指導計画

この単元の目標・重要概念・問い・評価をふまえて、単元の学習指導計画を設定する。主に各本時の問いと学習経験を明示する。

テーマ	問い・学習内容・学習活動	留意点
第1時（事前学習） 「SDGs と私たち」	Q、「これまでの人生や生活で大切にしてきたものは何か？」 Q、「SDGs の目的・内容・価値は、どのようなものか？」 Q、「地球の持続可能性にはどのようなものがあるか？」 ○SDGs が出来た背景・内容の確認 ○地球の持続可能性の確認 ○展示の見方（視点・内容・データなど）の共有	・生徒の人生や生活と SDGs のつながりを見つけられるように配慮する。 ・ローカルとグローバルの接点。
第2時（展示の見学） 『人間の安全保障』と地球の持続可能性	Q、『人間の安全保障』の展示の内容は何か？展示の意図は何か？ ○展示の見方（視点・内容・データなど）の共有 ○展示から生徒の深まりや変容の根拠となる事実・データを記録する。その際、展示の意図を考える ○地球案内人の話から途上国の現状を把握する	・展示を見学しながら、SDGs を念頭に置くことを促す。 ・根拠の探索・記録を促す。
第3時（事後学習） 「これからの私たちの生き方」	Q、『人間の安全保障』の展示を見学し、地球の持続可能性について考えることを通して自覚した自分自身の生き方への深まりや変容は、どのようなものか？ Q、「地球の持続可能性について考えるにあたって既存の知識や素朴概念、関係性を組み替えるために必要な想像力とは、どのようなものか？」 ○自分自身の生き方への深まりや変容の自覚 ○展示で得た根拠を活用して批判的かつ論理的に表現する ○地球の持続可能性を再度考え、ローカルとグローバルの接点を探る ○他者の深まりや変容を聞くことによって、自分自身の深まりや変容を省察する（相互評価・メタ認知）	・いくつかの表現方法の中から生徒自身が表現しやすい方法を選択できるように促す。 ・ルーブリックを参照し、相手に伝わるような表現方法を認識させるように促す。

6、本時案（学習経験）

(1)第1時（事前学習）

・目標

○SDGs を入口に地球の持続可能性についての関心を持ち、自分自身の生き方を問い直そうとしている。そのプロセスにおいて自分自身の深まりや変容を自覚する契機をつかんでいる。（学びに向かう力・人間性等）

・本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点															
導入 7分	<p>Q、「これまでの人生や生活で大切にしてきたものは何か？」</p> <p><予想される生徒の反応></p> <p>●「命」「家族」「友だち」「水」「平和」「人権」「スマホ」 etc</p>																
展開① 30分	<p>Q、「SDGsの目的・内容・価値は、どのようなものか？」</p> <p>○SDGsが途上国だけでなく先進国もともに達成する目標であることの確認</p> <p>○SDGsの17目標の内容・価値の確認</p> <p>○地球の持続可能性を妨げる課題を考える</p> <p>→◎「中学生がESDの阻害要因を四象限図に整理する：2015.10.30」にある持続可能性を妨げる課題</p> <table border="1"> <tr> <td>災害</td> <td>環境</td> <td>平和</td> </tr> <tr> <td>資源・エネルギー</td> <td>差別・偏見</td> <td>経済格差</td> </tr> <tr> <td>病気</td> <td>食・薬品・薬物</td> <td>世界遺産・地域遺産</td> </tr> <tr> <td>信仰・宗教</td> <td>ICT</td> <td>犯罪・事件</td> </tr> <tr> <td>いじめ・体罰・虐待</td> <td>人口爆発・超高齢社会</td> <td>()</td> </tr> </table> <p>(成田喜一郎ブログ「いったい何がESDなのか：実践と理論との狭間で考える」 http://esd2005-2015.blogspot.jp/2015/10/esd20151030.html?view=flipcard)</p> <p>取得日時 2018/09/16</p> <p>◎パフォーマンス課題「SDGsから考える持続可能な社会と私たち」とルーブリックの説明・共有</p>	災害	環境	平和	資源・エネルギー	差別・偏見	経済格差	病気	食・薬品・薬物	世界遺産・地域遺産	信仰・宗教	ICT	犯罪・事件	いじめ・体罰・虐待	人口爆発・超高齢社会	()	<p>・生徒の人生や生活とSDGsのつながりを見つけられるように配慮する。</p> <p>・ローカルとグローバルの接点を考えられるように配慮する。</p> <p>・地球の持続可能性を妨げる課題について項目を挙げて、イメージさせる。</p>
災害	環境	平和															
資源・エネルギー	差別・偏見	経済格差															
病気	食・薬品・薬物	世界遺産・地域遺産															
信仰・宗教	ICT	犯罪・事件															
いじめ・体罰・虐待	人口爆発・超高齢社会	()															
展開② 10分	<p>○展示の見方（視点・内容・データなど）の共有</p> <p>→ブースごとに5W1Hに注目して記録する</p> <p>→必要な解説文を要約する</p> <p>→表やグラフなどの数値のデータにも着目する</p>	<p>・展示見学の目的と方法を共有できるようにする。</p>															
まとめ 3分	<p>○重要だと考えるSDGsの選択とその理由の言語化</p>	<p>・根拠となる展示情報の予察をさせる。</p>															

・本時の評価

○SDGsを入口にして地球の持続可能性を妨げる課題について考え、自分自身の生き方への深まりや変容を考えようとしている。(学びに向かう力・人間性等)

(2)第2時(展示の見学)

・目標

○「人間の安全保障」の展示の見学から、批判的かつ論理的に地球の持続可能性について考え、自分自身の生き方への深まりや変容を多様な表現方法で明示できている。(思考力・判断力・表現力等)

○自分自身の生き方への深まりや変容を明示する際の根拠となる地球の持続可能性に関する知識（SDGs の内容・途上国の現状・「開発」「支援」のような概念を含む）を習得・活用できている。また、展示の見学から根拠となるデータを得ることができ、分析するための一連のスキルを身に付けている。（知識・技能）

・本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入 15分	○SDGs が途上国だけでなく先進国もともに達成する目標であることの確認 ○SDGs の 17 目標の内容・価値の確認	・生徒の人生や生活と SDGs のつながりを見つけられるように配慮する。
展開① 45分	<p>Q、「『人間の安全保障』の展示の内容は何か？展示の意図は何か？」</p> <p>○展示の見方（視点・内容・データなど）の共有 →ブースごとに5W1Hに注目して記録する →必要な解説文を要約する →表やグラフなどの数値のデータにも着目する ◎展示の見学：各ブース 「1. 導入」「2. 世界のあいさつ」「3. 貧困ゾーン」「4. 保健医療ゾーン」「5. 水ゾーン」「6. 教育ゾーン」「7. 紛争ゾーン」「8. 相互依存ゾーン」「9. SDGs ゾーン」「10. 市民のひろば」</p>	・展示見学の目的と方法を共有できるようにする。 ・生徒自身の深まり・変容の根拠となる視点・内容・データなどを記録するよう促す。
展開② 50分	○地球案内人の話 →地球案内人の話から途上国の現状を把握する →地球案内人の体験談と SDGs のつながりを考える →自分自身の生き方への深まりや変容の根拠となる事実を記録する	・地球案内人の「青年海外協力隊」という立場を考慮しながら、途上国の現状を把握できるように配慮する。
まとめ 10分	○展示見学を通して、重要だと考えた SDGs の選択・理由の言語化 ○展示見学から認識した自分自身への深まりや変容の言語化	・展示、SDGs、自分自身の生き方という3者の関係性に着目する。

・本時の評価

○「人間の安全保障」の展示の見学から、批判的かつ論理的に地球の持続可能性について考え、自分自身の生き方への深まりや変容を自分なりの表現方法を選択して表現できている。（思考力・判断力・表現力等）

○自分自身の生き方への深まりや変容を明示する際の根拠となる地球の持続可能性に関する知識（SDGs の内容・途上国の現状・「開発」「支援」のような概念を含む）を習得・活用できている。（知識・技能）

(3)第3時（事後学習）

・目標

○「人間の安全保障」の展示を見学することを通して、SDGsを入口に地球の持続可能性についての関心を持ち、自分自身の生き方を問い直そうとしている。そのプロセスにおいて自分自身の深まりや変容を自覚できている。(学びに向かう力・人間性等)

○「人間の安全保障」の展示の見学から、批判的かつ論理的に地球の持続可能性について考え、自分自身の生き方への深まりや変容を多様な表現方法で明示できている。また、想像力を駆使して、既存の知識や素朴概念、関係性を組み替えようとしている。(思考力・判断力・表現力等)

・本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入 5分	◎パフォーマンス課題「SDGsから考える持続可能な社会と私たち」とルーブリックの再確認	・ルーブリックを参照し、相手に伝わるような表現方法を認識させるように促す。
展開① 20分	<p>Q、「『人間の安全保障』の展示を見学し、地球の持続可能性について考えることを通じて自覚した自分自身の生き方への深まりや変容は、どのようなものか？」</p> <p>○自分自身の生き方への深まりや変容の自覚 ○展示で得た根拠を活用して批判的かつ論理的に表現する →ルーブリックに提示されたFMに沿って、読み手を説得できるような言語化をめざす(パフォーマンス課題ワークシート)</p>	・いくつかの表現方法の中から生徒自身が表現しやすい方法を選択できるように促す。
展開② 15分	<p>Q、「地球の持続可能性について考えるにあたって既存の知識や素朴概念、関係性を組み替えるために必要な想像力とは、どのようなものか？」</p> <p>○地球の持続可能性を再度考え、ローカルとグローバルの接点を探る(SDGsの捉え方) →この段階での「地球の持続可能性を妨げる課題」についてどのように応答できるのかを言語化する</p>	・SDGsの価値をもう一度考えさせることを重視する。
まとめ 10分	○他者の深まりや変容を聞くことによって、自分自身の深まりや変容を省察する(相互評価・メタ認知) →コメント回覧やインタビューなどの方法を用いて、双方向的に深まりや変容を伝え合う	・深い振り返りのポイントとして、①他者からの学び、②展示見学の前後での自己変容の2点に着目させる。

・本時の評価

○SDGsを入口に地球の持続可能性についての関心を持ち、「人間の安全保障」の展示見学の前後での自分自身の生き方への深まりや変容に気づいている。(学びに向かう力・人間性等)

○「人間の安全保障」の展示の見学から、批判的かつ論理的に地球の持続可能性について考え、自分自身の生き方への深まりや変容を自分なりの表現方法を選択して表現できている。また、想像力を駆使して地球の持続可能性について自分の意見を表現できている。(思考力・判断力・表現力等)